

## ○ 有松まちづくりの会役員会 (11月27日)

### ①第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会について (11月17日～19日)

役員会冒頭、服部会長 (大会実行委員長) より「1年以上前から準備を進め、大会3日間皆様のご協力により大会が無事成功裏に終了したことに感謝します。今後有松のまちづくりをどのように行うか皆様と話し合いながら進めて参ります。」と述べられました。

名古屋有松大会には、北海道から沖縄・台湾まで、スタッフを含め400名近い人が参加しました。今回のテーマ「町並みはわたしが守る ～みんなのものから40年～」も町並みゼミ40年を折り目とし、今後のまちづくりの活動方針の参考になったと思います。(会議の概要は後述)

### ②NPO法人「コンソーシアム有松」(CAN)からの報告

- ・今後毎月有松まちづくりの会役員会に出席し、情報を交換しながらまちづくりを共に進めたい。
- ・名古屋市の今年度有松観光事業に小路名称表示が取り上げられ、JTBと検討中です。

## ○ 有松桶狭間観光振興協議会役員会

### ① 第14回総会開催日時

- ・開催日時：12月21日(木) 13:30～
- ・開催場所：有松・鳴海絞会館
- ・記念講演：井澤知且氏 名古屋学院大学教授
- ・講演内容：有松・桶狭間住民意向調査結果について(14:30頃～、会員以外も聴講可)

### ② 桶狭間地区のNPO法人設立準備状況

桶狭間古戦場保存会が名古屋市に登録申請中で、年内に認定される見込みです。

なお、有松地区はNPO法人「コンソーシアム有松」(CAN)が9月に認定されています。

## ○ 全国宣伝販売促進会議参加者が有松見学 (10月31日)

全国から旅行会社関係者をお招きし、愛知および名古屋をPRする「全国宣伝販売促進会議」が開かれ、その参加者が有松を訪れました。

NPO法人「コンソーシアム有松」が受け入れ窓口となり、町並み見学については有松あないびとの会が、絞り染め体験は絞組合が担当しました。

参加者は、名古屋市内にこんな町並みがあるのかと感心し、絞り染め体験についてはこんなに簡単にでき、柄の多彩さにも驚いていました。

これで有松が観光コースに加えられることを期待します。



絞り染めの体験をする参加者

## ① 実行委員長開会挨拶（服部 豊）

昭和53年第1回全国町並みゼミを有松・足助で開催し、あれから40年、昨年重伝建の選定を受けた名古屋有松で記念すべき第40回全国町並みゼミを開催するに当たり、運営に精一杯努力しますのでよろしくご協力をお願いします。温故知新の考えで今後50回、60回、100回と続けていただきたく思っています。



全体会開会式風景

## ② 基調演説（須田寛様、JR東海相談役）

●観光とは、その土地の「光」（美しいもの・優れたもの＝宝）を心をこめて学び・「観」ること、および誇りをもち心をこめて「観」（しめ）すことである。

●観光行動により、文化交流活動が起り、地域経済が活性化し、それがまちづくりにつながる。

## ③ 町並み見学と各分科会

各分科会のテーマ、「①これからの町並み保存、②伝統産業の継承と町並み、③町並みと山車・まつり、④歴史文化を活かしたまちづくり、⑤歴史的資産のネットワーク、⑥近代化遺産の保存と活用、⑦城下町のまちづくり」で、午前中は各地で町並み見学をし、午後は分科会としてテーマに沿った討議が熱心におこなわれました。

有松あないびとの会案内の有松町並み見学では、途中竹田邸と久田邸にて抹茶でおもてなしをし、竹田邸書院では「ここが連盟発祥の場所だ」と参加者から声が上がっていました。

## ④ 名古屋有松宣言（竹田嘉兵衛 副実行委員長が提案）

●市場価値のある歴史的な町並みの保存・再生にかかわり、市場形成の一翼を担う。

●私たちは、今まで以上に、歴史的建物や町並みの本質的な意味・仕組みを研究し・学び・共有し、確かな修理・修復・修景をし、そしてまちづくりを進める。

●歴史的な町並み地区を、地域の誇りを産業にする場とし、経済社会の再生をはかる。

●「観光は外からの再評価」という原点を確認し、住民が誇りともてなしの心を持つまちづくりを進める。

●歴史的建物の保存と継承へ向け、建築基準法、都市再開発法、歴史的建物の保存・活用の条例制定などの動きを一層本格的に展開するよう「町並みはわたしが守る」取り組みを強力に進める。

## ⑤ 連盟旗引継ぎ（名古屋有松→信州松代）

「全国町並み保存連盟」旗が「有松まちづくりの会」の服部会長から、来年のゼミ開催地、信州松代のNPO法人「夢空間松代のまちと心を育てる会」の香山理事長に手渡されました。



## ⑥ エクスカーション（有松コース）

大会終了後、30余名があないびとの会の案内で有松の町並みを散策されました。

## ○ 第10回有松コミセンまつり開催される（11月25日、26日）

現在有松コミセンで活動しているグループは、30を越えています。利用しているグループの作品を展示し、稽古の成果を発表する年1回の有松コミセンまつりが開催されました。

作品展示はコミセン1F、2Fで、大正琴などの活動発表は有松小学校体育館でおこなわれました。

有松あないびとの会は、昨年重伝建に選定された有松を、分かりやすく展示・説明していました。



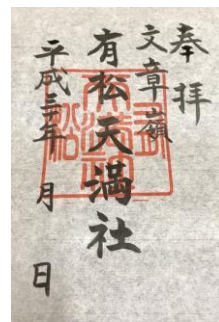
重伝建説明パネル

## ○ 有松天満社 御朱印および御朱印帳を頒布

有松天満社文嶺講は、御朱印および御朱印帳を来年の元旦祭から頒布（はんぷ）すると発表しました。

御朱印頒布は以前から参拝者の要望があり、検討の結果有松天満社に文嶺講総代がいる元旦祭（1月1日～3日）、春季大祭（3月第3日曜日）、秋季大祭（10月第1日曜日）に行なうことにしました。

御朱印帳の装丁は有松絞りになっています。



御朱印



御朱印帳

## ○ サムライ・ニンジャ フェスティバル開かれる（11月12日）

平成26年に第1回あいち合戦ワールドが大高緑地公園で開催され、昨年はモリコロパークで開催されましたが、第4回の今年は大高緑地に戻り、名前も替えて開催されました。

名古屋おもてなし武将隊や桶狭間古戦場保存会武将隊はじめ全国各地から参加した武将隊の総指揮を愛知県知事の大村総大将が執り、大武者行列が行われました。その他、棒の手・火縄銃・放鷹術などの実演が行われました。



放鷹術実演風景

## ○ やっとかめ文化祭 まち歩き有松開催される（11月2日）

恒例のやっとかめ文化祭2017の「まち歩きなごや」全45コースの一つ『東海道 有松』が、行われました。

有松あないびとの会の案内で、18名の方が秋の有松東海道を散策されました。あないびとの軽妙な語り口に参加者の皆さんは聞き入っていました。また、庄九郎の分家の東竹（ひがしたけ）では、広重の浮世絵を見て、歴史ある町「有松」を感じ入っているようでした。





### ⑦ 天王坂通り



- ・坂の途中に牛頭天王が祀られている津島社があったので、天王坂と呼ばれていました。現在津島社は、天満社に仮移設されています。

### ⑧ 山与遊歩道



- ・中濱商店東側・北側周りの遊歩道で、元所有者の山田与吉郎氏の子孫の強い意向で家・すなわち町並みが残り、山与遊歩道と名付けられました。

## ○ 催事・行事の予定

- ・12月01日 (金) 09:00 有松中学校1年生 地域学習 (現地学習)
- ・12月02日 (土) 10:00 第1回緑区観光ルートバス研修 (大高駅→鳴海駅)
- " 15:00 第3回上方落語 桂九雀 独演会 寿限無茶屋
- ・12月03日 (日) 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- " 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 有松商工会
- ・12月16日 (土) 10:30 信長公ロゲイニング愛知大会 清州城→桶狭間 (信長攻路) 名古屋市
- " 13:30 有松まち歩き 観光案内処 (西)
- ・12月17日 (日) 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- " 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 有松商工会
- " 10:30 有松まち歩き 観光案内処 (西)
- ・12月18日 (月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・12月21日 (木) 13:30 有松桶狭間観光振興協議会総会 絞会館
- " 14:30 記念講演「有松・桶狭間住民意向調査結果について」 井澤知且教授
- ・12月26日 (火) 18:00 有松まちづくりの会役員会
- ・1月1日～3日 10:00 有松天満社 元旦祭

---

発行者：竹田嘉兵衛 (有松まちづくりの会 副会長)

編集者：加藤 一成 (有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索